

各 位

積水化学工業株式会社

建築設備配管関連製品の価格改定について

弊社が製造・販売する建築設備配管製品において、原油、原料炭、鋼管原管等の高騰や昨年来拡大する海外との販売価格差是正等を背景に、主材料である塩ビ、ポリエチレン原料や鋼管、また、各種関連副資材、輸送費、電力費等も含め、様々なコストが急騰しております。

弊社では、コスト削減や効率化を鋭意推進してきましたが、自助努力の限界に達しましたので、下記の通り、販売価格の改定を実施いたします。

度重なる価格改定につきまして、お得意さま各位のご理解とご協力に深謝申し上げるとともに、弊社としましては、トータルコストの低減をはかり、新商品開発やCS・品質経営に最大限努めることで、お得意さまのご期待に応えて参りたいと考えております。何卒、諸事情ご賢察の上、ご理解賜りますよう、お願い申し上げます。

記

1. 価格改定実施日 2022年4月1日（金） 出荷分より

2. 対象製品と値上げ幅

<硬質塩化ビニルライニング鋼管>

- ・LP-VA、VB 15%以上
- ・DVLP（ラセンDVLP含む） 15%以上
- ・HTLP、WHTLP 10%以上

<給水・給湯用架橋ポリエチレン管>

- ・エスロペックス 10%以上

<金属強化ポリエチレン管>

- ・スーパーエスロメタックス 10%以上

<建物用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管・継手>

- ・耐火VPパイプ 15%以上
- ・耐火プラAD継手付属品 20%以上
- ・耐火DV遮音継手 15%以上
- ・遮音カバー 15%以上

<空調ドレン用結露防止層付硬質塩化ビニル管>

- ・ACドレンパイプ 15%以上

<水道用耐震型高性能ポリエチレン管>

- ・エスロハイパーAW（消火管用途除く） 10%以上

<単管式排水特殊継手>

- ・ADスリム関連部材 30%以上

以 上

お客様各位

積水化学工業株式会社

プラント資材関連製品の価格改定について

拝啓 貴社ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、当社が製造・販売するプラント資材に関わる製品において、昨今の塩ビ樹脂の大幅な値上げに加え、フッ素樹脂につきましても需給逼迫による影響により価格も高騰しており、ゴム・金属部品類等についても同様の要請を受けております。

当社では、コスト削減や効率化を鋭意推進してきましたが、自助努力の限界に達しましたので、下記の通り販売価格の改定に踏み切ることと致しました。

諸事情をご賢察の上、ご理解ご協力を賜りますと伴に、今後とも引き続きエスロンプラント資材製品をご愛顧頂きますよう何卒宜しくお願い申し上げます。

記

1. 価格改定実施日 2022年3月1日(火) 出荷分より

2. 対象製品と値上げ幅

| | |
|-----------|-------|
| バルブ類 | 10%以上 |
| プラント管類 | 15%以上 |
| 継手類 | 10%以上 |
| フランジ・パッキン | 10%以上 |
| 関連製品 | 10%以上 |

以上

【対象製品・改定幅詳細】

| 製品 | 改定幅 |
|---------------|------------------|
| 手動・自動バルブ | 10%以上 |
| フランジ | 10%以上 |
| HT フランジ | 6%以上 |
| ルーズフランジ | 10%以上 |
| EPDM パッキン | 10%以上 |
| PTFE パッキン | 10%以上 |
| ユニオン継手 | 10%以上 |
| HT ユニオン継手 | 6%以上 |
| 大口径 TS 継手 | 10%以上 |
| HT 大口径 TS 継手 | 6%以上 |
| SUS インサート継手 | 10%以上 |
| クリーンパイプ | 15%以上 |
| クリーン継手 | 10%以上 |
| HT クリーンパイプ・継手 | パイプ 6%、継手 3%以上 |
| VPFW・HTFW | VP15%以上、HT10%以上 |
| PVDF 管・継手 | パイプ 10%、継手 10%以上 |
| プラント VP | 15% |
| プラント HT | パイプ 6%、継手 3%以上 |
| 透明パイプ | 10%以上 |
| UV ストロング | パイプ 10%、継手 5%以上 |
| プラントハイパーBK | パイプ 10%以上 |

2022年2月吉日

お取引先様各位



排水集合管及び関連製品等 設計積算価格改定のお願

謹啓 立春の候、貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は弊社製品に格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて排水管事業を取り巻く市場環境も合成樹脂製品と同様に、原材料価格や物流サービス費用の高騰、人件費等により年々厳しくなっております。弊社と致しましても生産性向上対策、経費削減など合理化努力を致してまいりましたが、このような複数要因を自助努力だけで吸収することが難しい状況となってきました。つきましては、排水集合管及び関連製品においても価格改定をお願いさせて頂くことになりました。

誠に恐縮ではございますが、諸事情をご賢察の上、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます

謹白

記

【改定日】

2022年3月1日（火）

【対象製品】

排水集合管（鋳鉄製）、脚部バンド、クボタイカシリーズ（カンペイ立て管・専用遮音材）、支持金具、排水用鋳鉄管改修部品、その他関連製品

【新設計価格】

価格改定率： 10%

弊社ホームページ よりご確認ください

- ・ <https://www.kubota-chemix.co.jp>
- ・ <http://drain.kubota.co.jp>

【その他】

設計積算価格表は、準備出来次第、配布する予定としています。

※尚、詳細につきましては、弊社営業担当者より別途ご説明申し上げます。

以上



お得意様各位

2021年12月27日
旭有機材株式会社
管材システム事業部

ASAHI AV 製品価格改定（値上げ）のお知らせ

拝啓 貴社ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社は原料価格の高騰などを背景に本年4月と9月に価格改定を実施いたしましたが、その後、塩ビ樹脂については製造・販売コスト高騰や海外との販売価格差是正などを背景に、塩ビ樹脂メーカーより1次2次の改定幅を大きく上回る3次値上げを要請されています。またフッ素樹脂においても需給逼迫の影響や原料価格の高騰もあり大幅な値上げを要請されており、エラストマー類・金属部品類・自動弁駆動部関連についても同様に要請を受けております。

当社として現状以上の値上げ受入れは困難との姿勢で各仕入先との交渉を重ねてまいりましたが、製品の安定供給の観点から要請を受け入れざるを得ないと決断するに至りました。

当社では、徹底した経費削減や生産工程合理化により最大限のコスト低減に努めておりますが、自助努力のみでのコスト上昇吸収は限界であると判断し、誠に不本意ながら下記のとおり本年3回目となる販売価格の改定のお願いをさせていただくことといたしました。

引き続き生産効率の向上に努めてまいりますので、諸事情をご賢察の上、何卒ご理解とご協力を賜りますとともに、変わらぬご愛顧の程よろしくごお願い申し上げます。

敬 具

記

1. 実施時期

2022年2月1日出荷分より

2. 対象製品・改定幅

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|-------|-------|---|---|-------|
| パ | イ | プ | 類 | 20%以上 | | | | |
| 継 | | 手 | 類 | 10%以上 | | | | |
| 関 | 連 | 製 | 品 | 10%以上 | | | | |
| パ | ル | ブ | 類 | 10%以上 | | | | |
| パ | ッ | キ | ン | 類 | 10%以上 | | | |
| 接 | 着 | 剤 | ・ | 副 | 資 | 材 | 類 | 10%以上 |

以上